

薬価調査に基づく後発医薬品の使用状況

● 平成19年9月薬価調査

(品目数は平成20年4月時点、数量シェア及び金額シェアは平成19年9月調査時の数量、薬価による。)

		品目数	数量シェア	金額シェア
先発医薬品	後発品なし	1,893	21.6%	49.0%
	後発品あり	1,528	34.9%	35.1%
後発医薬品		6,700	18.7%	6.6%
その他の品目(局方品、生薬等)		4,238	24.8%	9.3%

(厚生労働省調べ)

注1) 「後発医薬品」とは、薬事法上新医薬品として承認されたもの以外のもの(その他の品目を除く。)をいう。

注2) 「その他の品目」とは、局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤(ワクチン、血液製剤等)及び承認が昭和42年以前のものを用いる。

(参考) 小規模な調査に基づく後発医薬品の数量シェアの推移

	平成20年9月	平成20年10月	平成21年1月
後発医薬品	19.1% (17.9%)	19.5% (18.3%)	19.7% (18.5%)

(厚生労働省調べ)

注3) () 内は、補正前の数値。※

※ 平成19年9月の薬価調査は、都道府県の協力により、医療用医薬品を扱う全ての卸売業者を対象としたのに対し、昨年度実施した小規模な調査では、一部を除き、業界団体に属さない卸は調査対象に含まれておらず、客数としては、大手の卸を中心に平成19年9月調査の4割程度。

業界団体に属さない卸は、主に後発医薬品を中心に扱うことから、こうした調査対象と客数の違いに配慮して数値の補正を行った。(上記の表の括弧書きの部分は補正前の数値。)

この数値は、あくまでも参考値であり、平成19年9月の薬価調査における数値との直接的な比較はできない。